

尿中のカテキン代謝物のLC/MS/MS分析

尿中のカテキン代謝物の定性、及び経時変化・個体差調査

測定法 : LC/MS

製品分野 : バイオテクノロジー・食品・医薬品

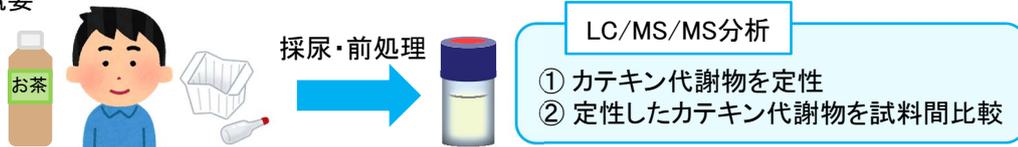
分析目的 : 組成評価・同定・経時変化・個体差調査

概要

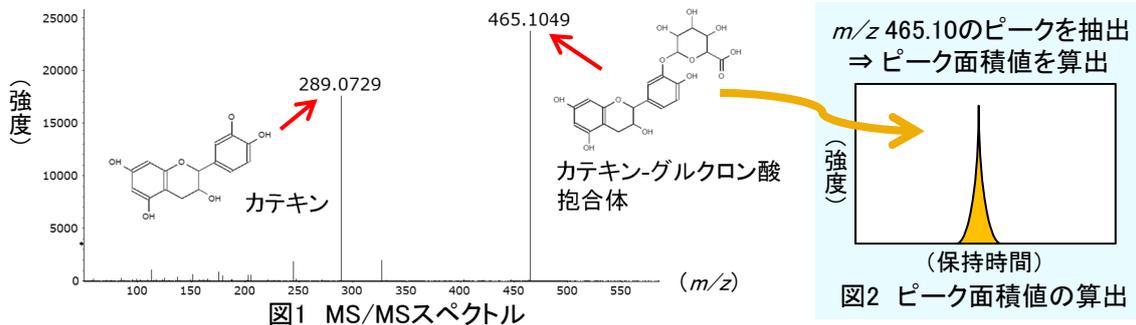
高感度LC-MS(Q-TOF型)を用いることにより、生体試料中における代謝物のような低濃度成分の定性分析が可能です。生体内で付加や抱合などの代謝を受けた成分の検索や、経時変化や個体差の調査を目的とした試料間比較を行うことができます。高濃度カテキン飲料を摂取後に採尿し、カテキンの代謝を調査したところ、未変化体のカテキンと、代謝物のカテキン-グルクロン酸抱合体が確認されました。8人の尿中カテキン及び代謝物について、摂取後0.5~8時間の排泄量をプロットし、比較を行いました。

データ

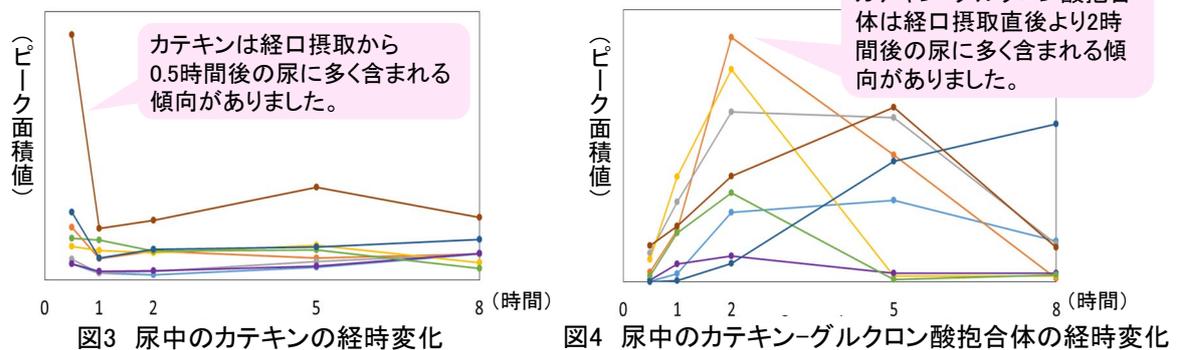
■分析概要



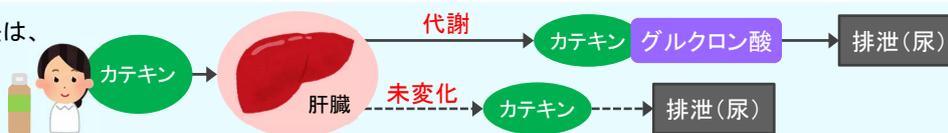
■カテキン-グルクロン酸抱合体の定性およびピーク面積値の算出



■カテキンとカテキン-グルクロン酸抱合体の尿中排泄 (n=8)



排泄の時間差は、代謝にかかる時間と推測



分析サービスで、あなたの研究開発を強力サポート!

一般財団法人
MST 材料科学技術振興財団

TEL : 03-3749-2525 E-mail : info@mst.or.jp

URL : <http://www.mst.or.jp/>